



小中一貫校 南アルプス市立



白根飯野小学校 学校だより

令和4年9月16日 文責 河住悦久

元気な声が校舎にもどってきました

34日間の夏休みが終わり、白根飯野小学校に子どもたちの元気な声もどってきました。静かだった学校に活気が生まれ、やはり学校には元気な子供たちの声が一番似合うなど感じさせてくれます。夏季休業中は新型コロナウイルス第7波の感染の拡大が続き、2学期の児童の感染の状況や学校行事等の実施について心配しましたが、2学期の始まりと共に感染は減少傾向に転じ、予定通り2学期のスタートを切ることができました。2学期も1学期と同様に感染対応をしっかりと行いながら、教育活動を展開していきたいと考えています。学習や行事等の学校生活を通して、児童一人一人が達成感や充実感を味わうことができる教育活動を行えるように2学期も教職員が力を合わせてがんばってまいります。保護者、地域のみなさまの変わらぬ本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



「一致団結 笑顔輝け！飯野小」運動会の練習が始まりました

9月9日（金）より、運動会特別日課に入りました。6年生が全校児童をリードしながら、9月24日（土）の運動会に向けて、どの学年の子どもたちも練習に一生懸命に取り組んでいます。今年の児童会の子どもたちが考えた運動会のテーマは「一致団結 笑顔輝け！飯野小」です。コロナの影響もあり、人と人との心のつながりが希薄になったといわれる今、運動会の目標として、子供たちが心をつなぐことの大切さを自分たちで考えてテーマにしたことを大変うれしく思っています。



今年度もコロナの対応を求められる中ですが、今回の運動会は昨年度より全校競技を一種目増やし、また、低中高の各ブロックでの表現運動の演技を2年ぶりに行う等、子供たちが心をつなぐ活動を中心に計画をしています。運動会の取組を通して、目標に向かってあきらめずに頑張りぬく力、友達と協力することの素晴らしさ等、多くの学びを子どもたちに経験してほしいと思っています。お子さんたちが泥だらけの体育着で、練習に疲れて帰ってくることもあろうかと思えます。ご家庭でも是非励ましてあげてください。よろしくお願いいたします。



さわやかなあいさつができる学校に



毎朝、校門の前で登校する子どもたちを迎えています。できる限り一人一人に声かけをするつもりで、目線を合わせながら「おはよう」とあいさつをしています。1学期の初めころは、「おはようございます。」と返してくれる子どもたちは約半数くらいだったのですが、このところ元気よくあいさつを返してくれる児童が増えてきました。特に低学年から中学年の子どもたちが元気にあいさつを返してくれ、私が「おはよう。」と声をかける前に「校長先生、おはようございます。」とあいさつをしてくれる子どもたちも増えていきます。

子どもに限らず大人の社会でも、あいさつはコミュニケーションの基本中の基本です。相手への親愛や尊敬の気持ちを表す「あいさつ」の大切さを理解して、人と人がつながるための基本的な表現として自然に、当たり前にあいさつができる子どもたちになってほしいと願っています。地域で登下校を見守ってくださっている皆さんや、旗振り当番の方に対しても「感謝を込めて・笑顔で・はっきりと・相手の目を見て」、と欲張ってしまいますが、白根飯野小学校が毎日さわやかなあいさつができる学校になるように今後もあいさつの励行に努めていきたいと思っております。



アウトメディアへのご協力ありがとうございました。

お子さんの普段のメディアへのかかわり方の確認をお願いします

夏休み中のアウトメディアへのご協力ありがとうございました。メディアを離れ家族と充実した時間を過ごせたというご意見と共に、今の時代にメディアから離れることのむずかしさを感じたというご意見も多くいただいております。取組の様子は保健だよりでお知らせします。今年度の全国学力学習状況調査の児童の生活アンケートの結果が8月に学校に届きました。アンケートの中で、本校では月曜日から金曜日に、テレビゲームや携帯ゲームを4時間以上している児童や、スマートフォン等で動画を4時間以上見ている児童の割合が山梨県や全国に比べ約2倍多いという状況がみられました。児童の健康や生活への影響が心配されます。学校では今後もアウトメディアの取組の推進や、情報モラル教育の充実を図ってまいります。ご家庭におかれましても、是非、お子さんのご家庭でのメディアへのかかわり方の状況を把握していただき、ご指導いただきますようお願いいたします。



Slimple Program (スリンプル プログラム)「アドジャン」に取り組んでいます

「アドジャン」。聞きなれない言葉ですが、2学期より本校で始めたスリンプルプログラムの中の1つのプログラムです。スリンプルプログラムは、スリムとシンプルをかけあわせた造語で、「かかわる体験の場」を子どもたちに意図的に仕組む取組です。「アドジャン」はとても簡単な取組です。3から4人グループで、アドジャンというじゃんけんを行い、お題を決め、そのお題について一人一人が話をするというものです。毎週水曜日の朝の活動の時間に行っています。「かかわる力」の構成要素である「自尊感情」や「ソーシャルスキル」を育むためのこの取組を通じて、自己理解や他者理解につながり共感的な人間関係がクラスの中に生まれ、子どもたちの友達の輪も広がっていくことを期待しています。

